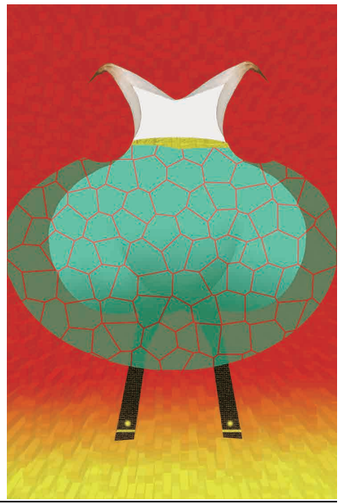
SMF 2019 年 宝船展

出品番号１９

名前　中村元

題名 双頭のパフォマー



2019 宝船展は来場者も増えてお客様の声も喜んで聞こえた。SMF の年間で宝船展は大変楽しみな催しの一つだ 写真を撮りだして足掛け６０年位になるが十代の頃は故郷の祭りの写真(花火)で推薦を貰、

其処が写真の原点かも知れない

今回は写真を加工して表現する作品で参加した。作品つくりはパソコンでファイルを開き妄想を繰り広げるのだ

出品したアイスラブや双頭のパフォーマーは此の年齢になってやっと見えてきた風景かなと一人思っている。

画像を重ねたり透明度を変えたりフィルタをかけて一瞬に画像の変化が現れたときは

楽しさが倍に成る。

今回はパフォーマにも参加させてもらい楽しかった、

私は寿獅子舞の舞い手なのだ、覚えたいと思ったのは１９６５年２５歳の正月日本橋人形町の寄席で初めて獅子舞を見てお客さんが大喜びしていたのが忘れられず(簡単そうに見えた)其れから師匠を探して３０年「覚えたいと言う気持ちを忘れないでいたのだ」

其の年３月さいたま市内の伏見稲荷別院「初午祭」の記録写真を撮り続けて１０年目の時た゛った祭りも終わりかけた頃トラックの荷台でお囃子を奉納していた若手衆から来年は獅子舞を奉納しょうぜと声が聞こえたので 誰がと聞き返すと俺たちだと返事が返ってきた すかさず教えてと言うと今晩此処に来いよと言われ夕方６時半頃行くと 師匠の所へ連れて行ってくれた。

即入門でその日からお稽古が始まった、其の年は阪神淡路大震災が起きた年なので良く覚えている。伝統芸能に向かった年でもあったのだ。

此の世界は年配者が多くその時 自分も５５才で若手だった。

稽古は激しくシゴカレ、体で覚えた。

あれから２４年が経ち忘れられない思い出は

テレビドラマ瀬戸内寂聴作 宮沢りえ主演「女の一代記」ロケ地鎌倉「昭和３５年の正月風景」に獅子を舞たのだ。

別の思い出はポーランド・グダンスク市 市民会館でのライブだ

此の話は又別のきかい。

寿獅子舞は私の宝だ昨年は銀座の三つのギャラリーで三回寿獅子舞を披露した。

何時もは お囃子をテレコで済ませているが

今回の SMF 宝船展でははユニット日光街道中村座の仲間を呼んで寿獅子舞を披露する事が出来て気持ち良かった。笛と太鼓の仲間と久しぶりにステージに立ててお互いをたたえ合う事が出来た。

SMF 宝船展は新しい作家さんが少しづつ増えて広がりを見せているので思考錯誤しながら続けて行きたいと願う。又会場の埼玉県立近代美術館様には

御協力を感謝申し上げます有難う御座います。